地価、一・四%の上昇

続く土地価格の鈍化

国土庁は、四月二日全国一六、九七五地点の地価公示価格を発表しました。

それによりますと、横越村の地価は、一平方㍍当たり横越字下郷三七、四〇〇円（前年比四〇〇円増）、二本木字判ノ木道南二七、九〇〇円（五〇〇円増）、小杉字居附八、四〇〇円（一〇〇円増）で、三地点の平均変動率は一・四%の上昇で前年より一・二ポイント低くなり、全国同様に地価の変動は鈍化を続けています。

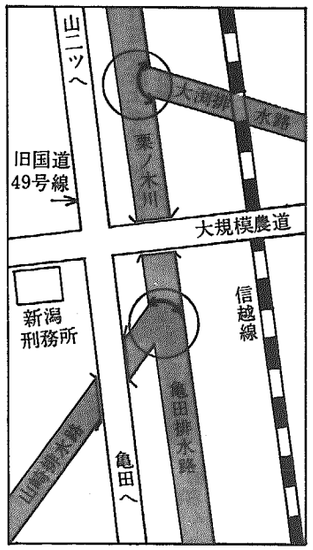
地価公示は、一般の土地取り引きの指標になったり、公共事業用地の取得価格に規準を提供するなど適正な地価の形成に役立つもので、役場企画調整課で公示価格、調査地点、諸事項が閲らんできます。

春の環境美化月間

クリーン作戦実施中

新潟県では、四月二十五日から五月二十四日までの一か月間を春の環境美化月間として各地でクリーン作戦を実施しています。

横越村では、四月二十一日に村民のご協力で全村一斉の空きかん回収を行いました。



ここ数年ポイ捨て空きかんが大きな社会問題になっていますが、鳥屋野潟の環境悪化も問題視されています。

そこで鳥屋野潟に流入するごみを防止するため、試験的に流入防止用オイルフェンスを亀田排水路と山崎排水路の合流点と大渕排水路から栗ノ木川へ出る地点の二か所に設置しました。

近くを通る際にどんなごみがたまるのか、ぜひご覧になってください。

水質汚濁は各家庭から排出される方法によって改善できます。自然を大事にし、生活環境を守るため、ご協力をお願いします。

5月の納税

固定資産税	1期
軽自動車税	全期
国民年金保険料	1期
自動車税	全期
下水道受益者負担金	1期

昭和60年度社会教育関係の事業あらまし

多数の参加を

昭和60年度の社会教育、社会体育事業を次のように計画いたしました。各種講座、文化・スポーツ等の催し物に村民の皆さんから多数、参加くださるようお願いします。

〔各種講座〕

高齢者大学	4月～3月
古典文学講座	5月～9月
家庭教育学級	4月～3月

〔文化行事〕

春の文化祭	6月
秋の文化祭	11月
俳句大会	1月
民謡大会	10月

〔スポーツ行事〕

早起き野球大会	6月
村民野球大会	7・8月
駅伝マラソン	12月
高齢者運動会	6月
村民運動会	10月
スキー教室	1月

施設開放等利用案内

公民館施設	通年
公民館図書	通年
移動図書	通年
村民プール	7・8月
学校体育施設	通年

小林孝文選

④〈短　歌〉

北方歌人主宰　塩井三作

さて、存さんは、全く気ままに歌をつくったということがおわかりになったと思いますが、そこでその歌をいくつか取り上げて観賞してみることに致しましょう。

まず、〝**蔑切はかしまし鳥のざれ鳥よ、田植乙女の顔ほてらしむ**〟

この歌は存さんが歌をつくり始めて間もない頃の歌で、六三、四歳頃につくった歌です。

よしきりという鳥は、やかましい鳥でいたずら鳥だ。田植え乙女の顔を赤くさせたりするというのです。

つまり、よしきりは、またの名を行行子（ぎょうぎょうし）といいますが、横越ではキョウキョウズといっています。そしてその鳴き声は、「キョウキョウズ、カラカラズ、ヨシニキンタマツッツイタ」と鳴くのだといわれています。

今の田植えは、機械でトントンと植えられますが、昔の田植えは五人、一〇人と集って行っていましたから田植え衆は、よしきりが鳴くと「またキンタマ突っついたか、そりゃ痛いだろう」というもんですから乙女たちは、おかしいやら、はずかしいやらで顔が上げられないのです。それなのによしきりは、皆んなが笑い止む頃にまた、キョウキョウズ、カラカラズ……と鳴くのですから全く始末の悪いいたずら鳥というわけです。

こういう歌は民俗学で方言や古事、ことわざなどに詳しい者でないとつくれない歌でおもしろく、幅のある歌なのです。

このように見てくると、存さんの歌は、わかりやすいように見えますが、よく読んでみると、なかなか味のこもった歌が多くあるのです。

次に、〝**岡辰押切帳読む日もありぬ、金持になろうなどとはゆめ思わねど**〟

「岡辰押切帳」というのはどんな読物なのかわからないと、この歌の意味がわかりません。この本は世界的な不景気とか金融恐慌時代などといわれた昭和四年に発表されて爆発的に売れたベストセラー本のことです。この本の題名は「金儲け実際談岡辰押切帳」といって、谷孫六という人が書いた本ですが、中身は岡辰というおじいさんがいろいろな方法で、ぼろい金もうけをした話しが主体になっている本なのです。

存さんは、あまり評判がよいので、俺のようなもんでも金もうけができるかなと思って読んで見たのでしょう。それから二〇年の年月が流れて敗戦後のものすごい窮乏生活の中で存さんは、「ああ、あの昭和四年の不景気のころは岡辰押切帳などを読んだこともあったがなあ、それにしても俺は、金持ちになろうという気が夢ほどもないんだから。あんな本を読んだこともみんな無駄なことだったんわい」という歌なのです。

このように、存さんの歌は、わかりやすいようで、わかりにくい歌がまだ沢山あります。

味のこもった歌多い

よく読むと

固定資産の評価替え

評価額上昇に調整措置も

今年度

昭和六十年度は固定資産税の評価額を見直す評価替えの年です。

評価替えは、本来であれば毎年度行い、適正な時価で資産価値に応じて課税を行えば納税者間における税負担の公平に資することになります。

しかし、膨大な量の土地、家屋のため、三年間評価額を据え置く制度、すなわち三年毎に評価額を見直す制度が評価替えです。三年間における資産価格の変動に対応し、評価額を適正な均衡のとれた価格に見直す制度であり、それが今年度行われます。

そこで、三年に一度の評価替えに伴って税負担が一挙に増加するのを緩和するため、前年度の税負担を基礎とした段階的な調整措置が適用されます。

宅地等の場合は、毎年度最高三〇%を超えない範囲で、また、農地の場合には、二〇%を超えない範囲で負担調整を講じます。

次に家屋の場合も評価替えにより、新しい評価基準によって再評価をするため、通常評価額が上昇することになります。

しかしながら家屋の経過年数とともに損耗することなどを考慮して、前年度の評価額より上回る場合には原則として評価替え前の価格に据え置くこととされます。

このように、今年度は資産の再評価という意味を含め、その資産価格に応じて税負担をしていただくという固定資産税の制度ですので、納税者のご協力をお願いします。

作業停電

5月23日(木)
8.30～12.00沢海全部
5月29日(水)
8.30～11.30木津上一部
13.30～16.30木津下全部

昭和60年度特別会計予算のあらまし

■国民健康保険特別会計　4億880万円

○1人当たりの保険税	41,558円
○1人当たりの保険給付費等	
療養諸費	56,217円
高額療養費	6,007円
助産費（1件）	100,000円
葬祭費（1件）	30,000円
育児手当金（1件）	3,000円

■老人保健特別会計　3億342万円

○医療対象者	885人
○1人当たりの医療諸費	342,023円

■農業共済事業特別会計　1億4,031万円

○農作物共済（水稲・麦）	
引受け面積	93,173 a
単位当たり共済金額	水稲294円　麦180円
○家畜共済	
引受け頭数　肉豚	1,200頭
乳牛	500頭
肉牛	13頭
○果樹共済（梨）	
引受け本数	4,490本
単位当たり共済金額	1類 143円　4類 141円
○損害防止	
共同防除	4回　940ha

■水道事業会計

収益的収支	9,902万円
資本的収支	2,677万円
○給水栓数	2,105栓
○年間総給水量	890,520㎥

■下水道事業特別会計　2億9,500万円

○幹線管渠布設	925m
○面整備管渠布設	350m

【お詫び】

▼過日、全戸に配布しました「昭和60年度税等の納期一覧表」のうち、国民年金保険料の納期が四月・六月・八月・十二月・二月となっていましたが、五月・七月・九月・十一月・一月・三月の誤りで訂正します。